

技能・技術を継承

一般社団法人 全国さく井協会 第44回定時社員総会開く

(一社)全国さく井協会は6月15日、東京都中央区の鉄鋼会館で第44回定時社員総会を開催し、平成29年度事業報告、決算を承認し、平成30年度事業計画及び予算の報告があった。

総会の冒頭、挨拶した脇雅史会長は「他産業と遜色のない勤務環境を作り上げていかなければ、我々の仕事を引き継ぐ人達が入ってこない。技能・技術をしっかり継承し、世間に評価されるよう努力していきたい。勤務時間が短くて給料が良ければいいというだけではなく、仕事に誇りを持つことが一番大事だと思っている。協会を挙げてしっかり働き方改革に取り組んでいきたい」と結束と協力を要請した。



挨拶する脇雅史会長

平成30年度事業計画では、会員増による組織の充実と前年度に立ち上げた資格委員会の具体的な活動内容が発表された。特に平成28年熊本地震を受けて、井戸被害調査の実施と防災井戸を進めるために、水井戸のデータベース化のスピードアップを図ること、8月末に「さく井・改修工事標準歩掛資料(平成30年度版)」が発行予定であることなどが述べられた。

また、11月8日大阪市内で行う予定の「いい井戸の日2018 in 近畿」では、一般の人も参加できる講演会、ブース展示の企画等、準備が進められている。

総会終了後、90名を超える参加で懇親会が開かれ、脇雅史会長が挨拶をし、田中良昭副会長の乾杯発声で歓談に入った。締めは、岡田宏副会長の音頭で三本締め、大阪市での再会を期してお開きとした。



議長を務める知久明副会長



田中良昭副会長が乾杯の発声



歓談中